

平成 21 年 3 月 19 日

各 位

会 社 名 株式会社高見沢サイバネティックス
 代表者名 代表取締役社長 高見澤 和夫
 (JASDAQ・コード番号: 6424)
 問合せ先 専務取締役 広田 和資
 (TEL. 03-3227-3361)

平成 21 年 3 月期通期 (連結・個別) 業績予想の修正
 ならびに繰延税金資産の取り崩しに関するお知らせ

平成 21 年 3 月期 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日) の通期業績予想について、平成 20 年 5 月 16 日付当社「平成 20 年 3 月期 決算短信」にて公表した予想を、下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 3 月期 連結業績予想の修正

(1) 通 期 (平成 20 年 4 月 1 日 ～ 平成 21 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 20 年 5 月 16 日発表)	12,000	160	90	20
今 回 修 正 予 想 (B)	10,080	△220	△280	△1,530
増 減 額 (B-A)	△1,920	△380	△370	△1,550
増 減 率 (%)	△16.0	—	—	—
(ご参考) 前 期 実 績 (平 成 20 年 3 月 期)	9,832	△532	△560	△548

(2) 修正の理由

連結業績予想の修正は、個別業績予想の修正に伴うものであります。

2. 繰延税金資産の取り崩しについて

当期の業績見通しを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産 10 億円を取り崩すこととし、法人税等調整額 (税金費用) に計上する予定です。

3. 平成21年3月期 個別業績予想の修正

(1) 通 期 (平成20年4月1日 ~ 平成21年3月31日)

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成20年5月16日発表)	10,200	180	120	55
今 回 修 正 予 想 (B)	8,310	△110	△150	△1,390
増 減 額 (B-A)	△1,890	△290	△270	△1,445
増 減 率 (%)	△18.5	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成20年3月期)	8,272	△320	△336	△194

(2) 修正の理由

当社は例年第4四半期に売上が集中する傾向にあります。当期は第3四半期までほぼ計画通り推移していましたが、急激な景気後退に伴い、メカトロ機器部門の海外向けユニット製品、また、特機システム機器部門のセキュリティシステム・駐輪場管理システム・防災計測システム等において、一部計画の繰り延べが発生するなど販売が低迷しました。更に交通システム機器部門でも各種機器の売り上げが伸び悩みました。これにより売上高は83億1千万円（計画比：18.5%の減少）となる見込みです。

損益につきましては、「ものづくり改革」による設計及び生産効率の向上・原価の低減、経費の圧縮等に取り組みましたが、売上高の減少分をカバーするには至らず、営業利益は1億1千万円の損失（計画比：2億9千万円の悪化）、経常利益は1億5千万円の損失（計画比：2億7千万円の悪化）となりました。当期純利益につきましては、投資有価証券評価損の発生に加え、繰延税金資産の取り崩しを行うこと等により、13億9千万円の損失（計画比：14億4千5百万円の悪化）となる見込みです。

※上記の修正予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上